



ジュニア・ユース ライフセービングスポーツクリニック／記録会 募集要項

ライフセービングスポーツ推進本部 本部長 内田 直人
競技力強化委員会 委員長 飯沼 誠司

- ◆開催目的 本スポーツクリニック／記録会は、子どもたちにライフセービングスポーツの魅力・技術を伝え、地域のライフセービング人口の拡大を図り、ライフセーバーの育成・競技技術の向上を目的とする。
- ◆日 程 2015年5月31日（日） 10：00～17：00 受付 9:30～
- ◆会 場 山形市総合スポーツセンター屋内プール（山形県山形市）
- ◆主 催 特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会
- ◆協 力 東北ライフセービング協議会、山形ライフセービングクラブ
- ◆内 容
 - ①前半 ライフセービングスポーツクリニック 10:00～12:30
ライフセービング・プール競技の基本技術講習
 1. チューブ チューブを付けてのスイム、チューブの巻き方（小学生）
 2. 障害物 障害物の潜り方（小学生、中学生、高校生）
 3. マネキン マネキンの運び方、マネキンのピックアップ（中学生、高校生）
 4. フィン フィンスイム、マネキンにチューブの巻き方（中学生、高校生）※小学生は1・2、中学生・高校生は2・3・4の種目をローテーションで実施します。
 - ②後半 ライフセービング・プール競技記録会 13:30～16:30
 1. 50m マネキントウ（小学生）
 2. 50m 障害物スイム（小学生、中学生、高校生）
 3. 50m マネキンキャリー（中学生、高校生）
 4. 50m マネキントウ・ウィズフィン（中学生、高校生）
- ◆対 象 小学3～6年生、中学生、高校生（50m以上泳げること）
- ◆参加費 参加者1名につき、500円（保険代を含む）

- ◆**申込方法**
- ①日本ライフセービング協会のホームページよりクリニック申込用紙をダウンロードしてください。エクセルにて様式 A、B、C に分かれています。
 - ②様式 A、B に必要事項を入力後、データファイルを送信ください。様式 C 同意書を印刷してください。記入押印し、郵送にて提出してください。
同意書は参加者 1 名につき 1 枚必要です。
 - ③様式 A 参加合計金額を申込締切りまでに、以下の口座へお振込みください。振込み手数料につきましては振込者側でご負担ください。

■金融機関・支店名：三菱東京UFJ銀行・浜松町支店
■口座種類・番号：普通 0039719
■口座名義：特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会
※振込みの際には、「団体名」・「スポーツクリニック」を必ず付けてください。

※個人での申込みも可能です。

- ◆**申込先**
- ・申込用紙 データ送信先 compe@jla.gr.jp
※件名に「団体名」・「スポーツクリニック」を入力してください。
 - ・同意書 郵送先 〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップビル
日本ライフセービング協会「スポーツクリニック/記録会 エントリー」宛
- ◆**申込締切**
- ・データ提出締切：2015年5月20日（水）24:00 受信分まで。
 - ・郵送提出締切：2015年5月20日（水）消印有効。
 - ・参加費振込締切：2015年5月20日（水）

◆**クリニック指導者**

青木 克浩 競技力強化委員 HPT コーチ
田村 憲章 競技力強化委員 HPT コーチ
水間 菜登 Rescue2012, 2014 日本代表 100mマネキントウ・ウィズフィン日本記録保持者
高橋 志穂 Rescue2012, 2014 ユース日本代表

- ◆**記録会**
- ・記録会は特別種目・特別ルールで実施します。
 - ・エントリーは、選手 1 名につき 2 種目までとします。
 - ・計時は手動で行います。

- ◆**その他**
- ・参加人数によってはタイムスケジュールが変更になる場合があります。
 - ・クリニック、記録会で使用するフィンは各自でご用意ください。（中学生、高校生）
 - ・各団体からクリニック安全係・記録会の補助員を 1 名以上の選出をお願いします。
 - ・申込団体には、締切後に申込担当者へメールにて詳細をご連絡します。

◆今後のクリニック（予定）

・6月27日（土） ユーススポーツクリニック／サーフ競技 10:00～11:00

全日本ユースライフセービング選手権大会 会場 岩井海岸

・7月12日（日） ジュニアユーススポーツクリニック／サーフ競技 10:00～17:00

会場 若狭和田海岸

◆お問い合わせ 日本ライフセービング協会事務局（業務時間 9:00～18:00）

TEL:03-3459-1445 / FAX:03-3459-1446

記録会 競技方法

1. 50mマネキントウ

①競技者は、レスキューチューブを付けて25m泳ぐ。

②折返しの壁をタッチした後、プールの壁から5m以内でレスキューチューブを巻き、ゴールまでそれを引っ張る。

2. 50m障害物スイム

①競技者はスタートの後、12.5mに設置された水中の障害物を2回潜りながら50m泳ぐ。

3. 50mマネキンキャリー

①競技者はスタートの後、25m泳ぎターンをし、水中に潜っているマネキンを引き上げる。

②マネキンを引き上げた後、ゴールまでマネキンを運ぶ。

4. 50mマネキントウ・ウィズフィン

①競技者は、フィンとレスキューチューブをつけて25m泳ぐ。

②競技者が折返しの壁をタッチしたら、マネキン・ハンドラーは壁にセットしてあるマネキンを直ちに放す。

③折返しの壁をタッチした後は、競技者はプールの壁から5m以内でマネキンの両腕の下にレスキューチューブをつけ、ゴールまでそれを引っ張る。